

本日の内容

- **江南市の公共施設の現状と課題について（10分程度）**
市から説明
- **アイスブレイク及びグループワーク（2時間程度）**
アイスブレイク（ワークの準備運動）
グループワーク「暮らしやすいまちってどんなまち？
～再配置シミュレーションゲーム」
- **意見発表・共有、ふりかえり（20分程度）**
各グループの意見の発表など

今後の公共施設のあり方に関するワークショップ

【江南市の公共施設の現状と課題】

平成29年8月

江南市 市長政策室 秘書政策課

江南市の公共施設について

江南市の公共施設の例



文化会館



公民館



体育館



図書館



小中学校



保育園



すいとぴあ江南



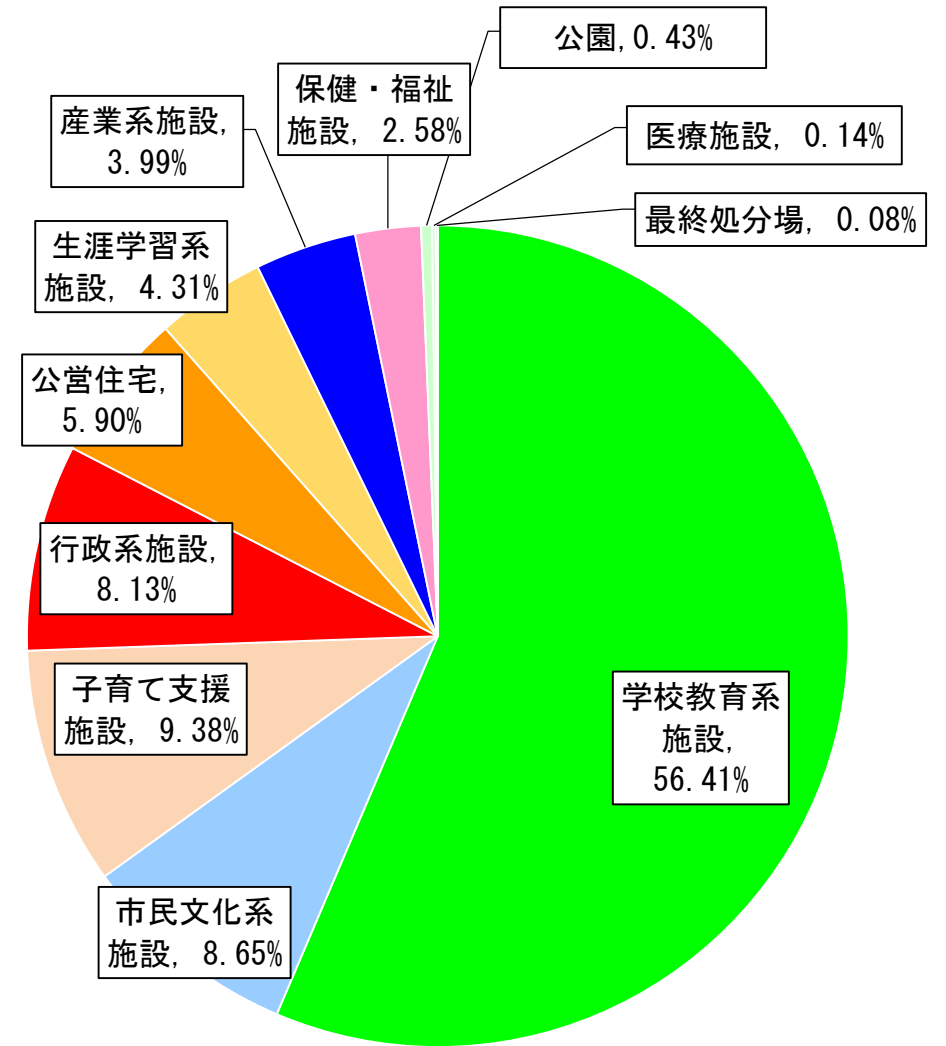
市営住宅

市役所、消防署、保健センター、給食センターなどのほか
様々な種類の施設があります。

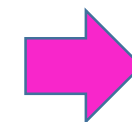
江南市の公共施設の保有状況

大分類	中分類	施設数	主な施設
市民文化系施設	文化施設	2	市民文化会館、布袋ふれあい会館【布袋支所】
	集会施設	18	公民館、学習等供用施設
生涯学習系施設	スポーツ・レクリエーション系施設	3	市民体育会館、武道館、市営グラウンド管理棟
	図書館	1	図書館
行政系施設	庁舎等	9	市役所、西分庁舎、支所、布袋駅周辺整備事務所、環境事業センター など
	消防施設	12	消防本部、消防団車庫
	防災施設	3	防災センター、地域安全安心活動拠点等施設、防災倉庫
学校教育系施設	小学校	10	小学校
	中学校	5	中学校
	給食センター	2	学校給食センター
子育て支援施設	保育園	18	保育園
	児童館等	9	児童館、学童保育所
保健・福祉施設	保健施設	1	保健センター
	高齢福祉施設	2	老人福祉センター【中央コミュニティ・センター】、高齢者生きがい活動センター
	児童福祉施設	1	わかくさ園
	障害福祉施設	2	在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ、心身障害者小規模授産施設
医療施設	医療施設	1	休日急病診療所
産業系施設	産業系施設	1	すいとびあ江南
公営住宅	公営住宅	3	市営住宅
公園	公園	6	コミュニティ・プール（監視所）、公園（倉庫・器具庫・休憩所等）、江南駅前便所
最終処分場	最終処分場	1	一般廃棄物最終処分場（管理室及び機械室）
合計		110	

平成29年4月1日現在の公共施設（建築物）の保有状況



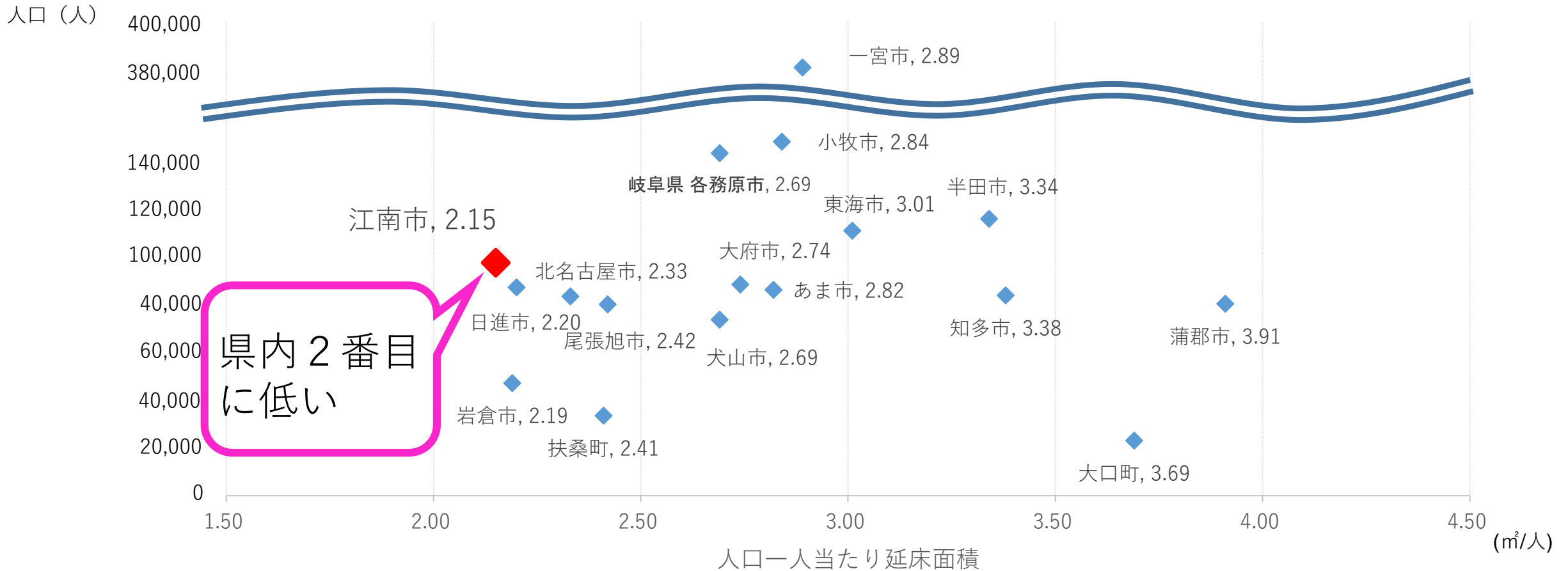
延床面積合計 約20.7万㎡



江南市民一人あたり
約2㎡

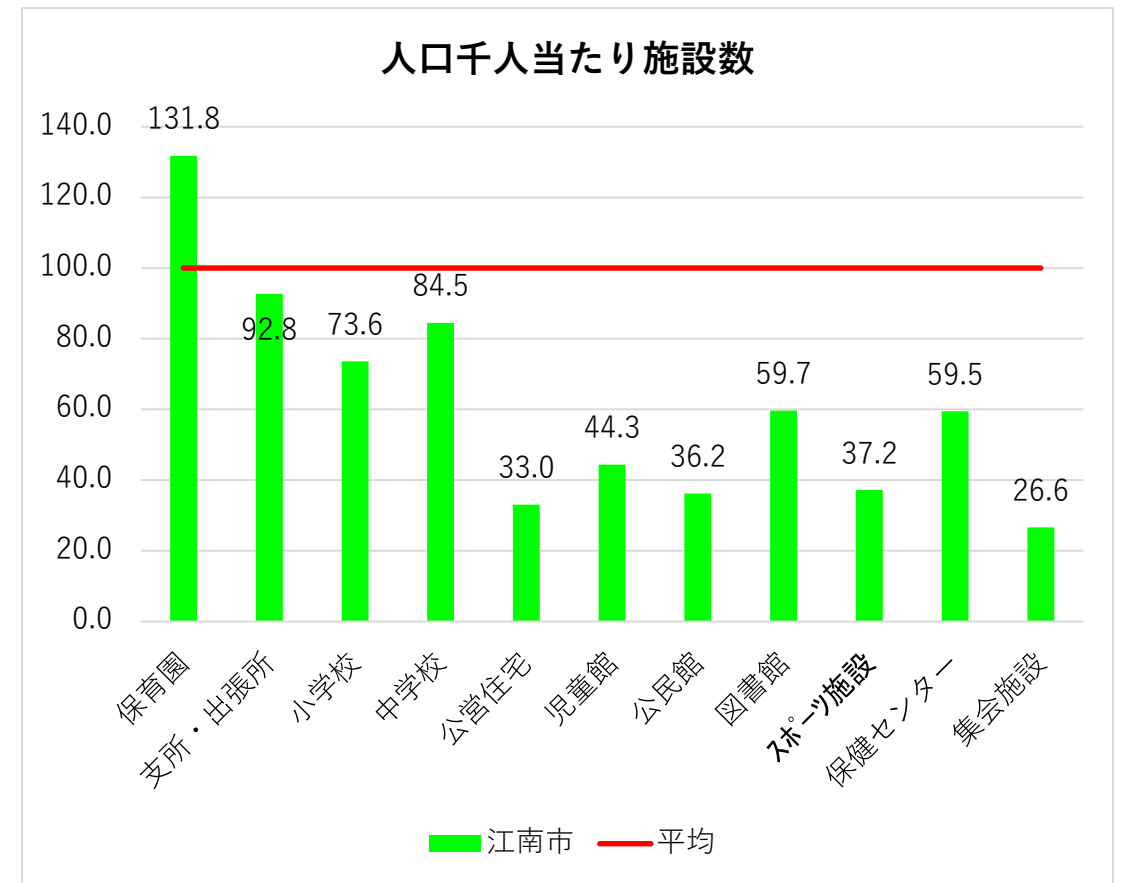
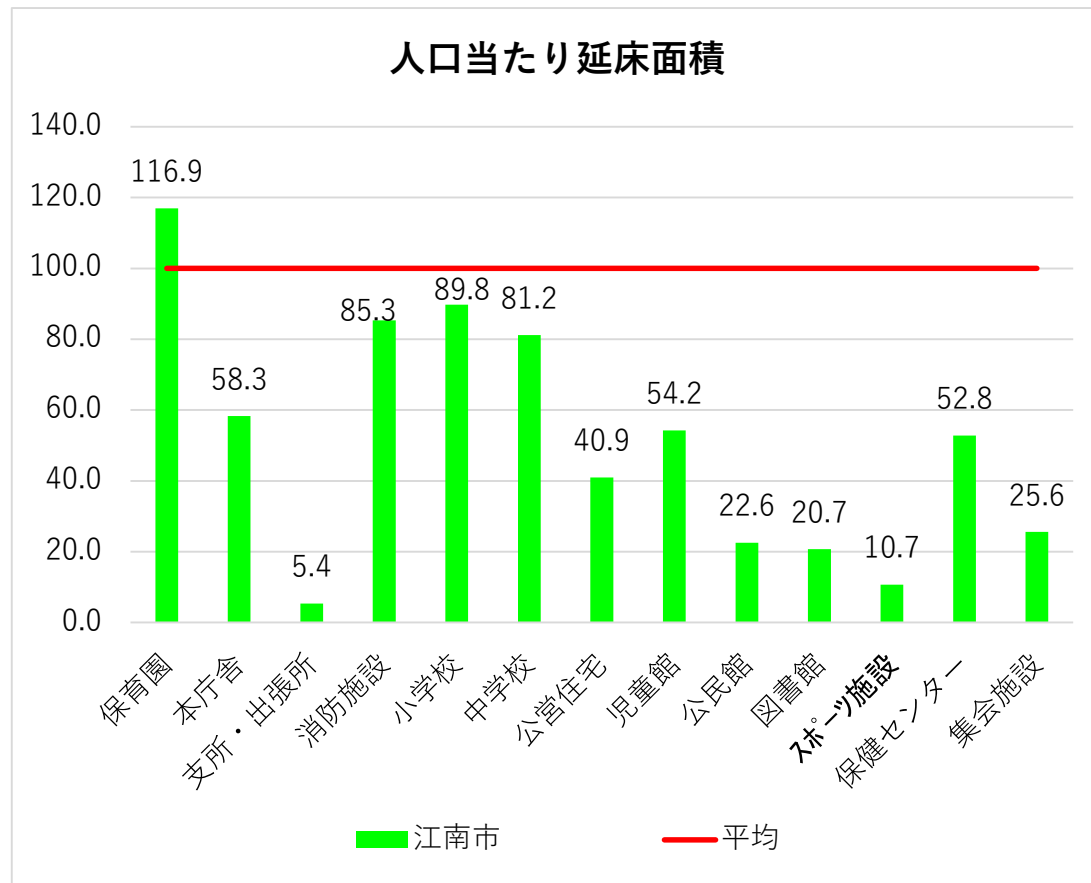
保有量の比較① 全体

近隣自治体及び県内の人口同規模自治体（8～12万人）との比較



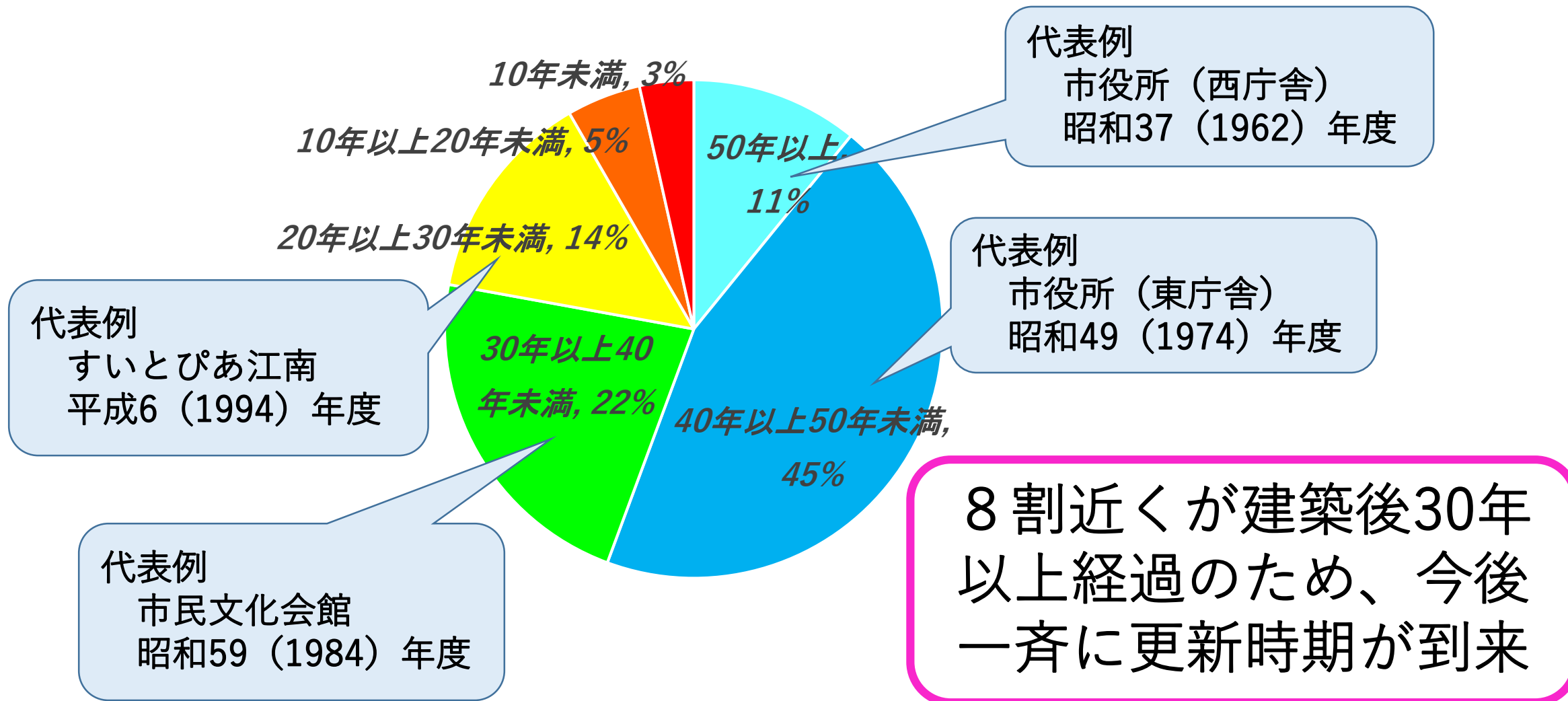
保有量の比較② 施設別

県内自治体の平均を100とした場合の江南市の水準



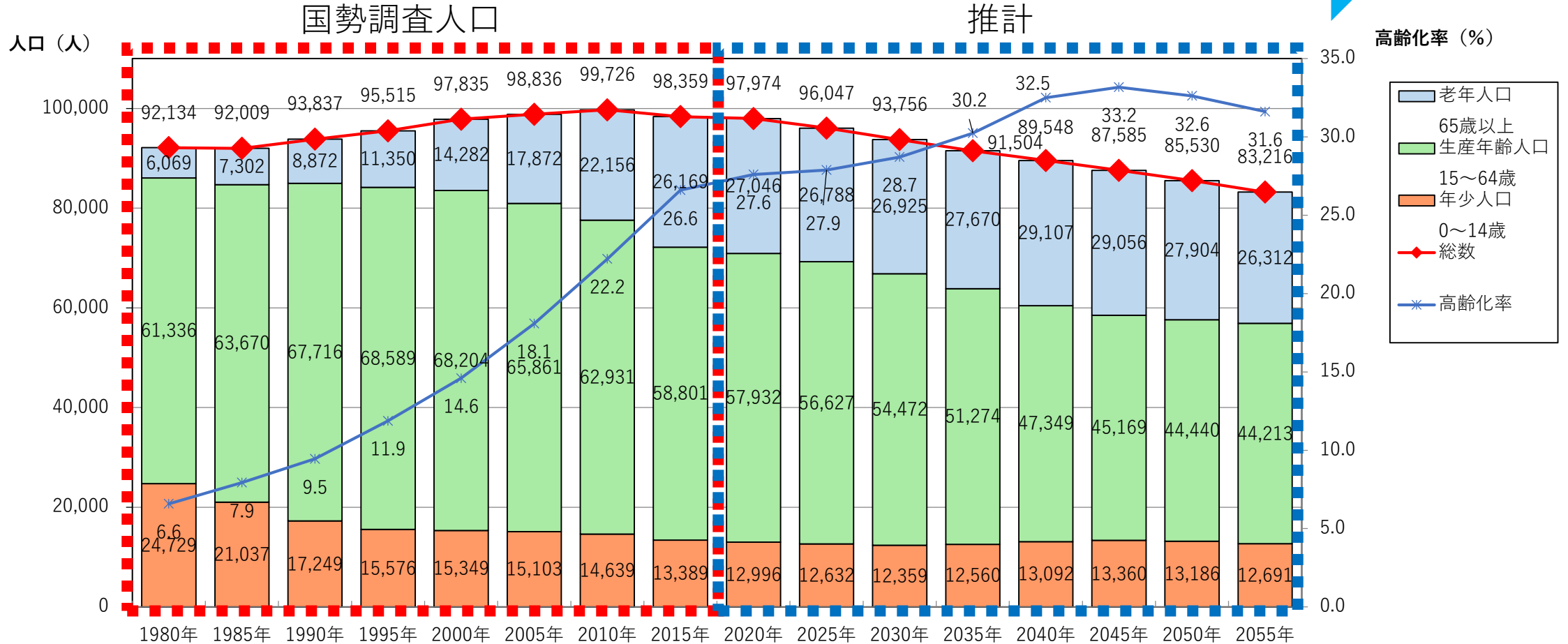
公共施設の更新問題とは

問題点① 公共施設の老朽化



問題点② 人口構造の変化

人口減少、超高齢社会の進行



人口構造の変化により、市税収入の減少、社会保障費の増加が予想

公共施設マネジメントの着手

江南市公共施設等総合管理計画の策定

将来更新費用の試算（今後40年間）

	①更新費用の見込み	②充当可能な財源の見込み	③不足額（①-②）
公共建築物	926.8億円 (23.2億円/年)	524.0億円 (13.1億円/年)	▲402.8億円 (▲10.1億円/年)
インフラ施設	308.2億円 (7.7億円/年)	264.0億円 (6.6億円/年)	▲44.2億円 (▲1.1億円/年)
合計	1,235.0億円 (30.9億円/年)	788.0億円 (19.7億円/年)	▲447.0億円 (▲11.2億円/年)

現在保有する施設を全て同じ規模のまま建て替えることは**不可能**

公共施設等の管理に関する基本的な方針①

公共建築物の維持管理における基本方針の3つの柱

方針

1

施設総量の縮減

市民へのサービス水準を維持、充実させながら、施設の統廃合を推進することにより、公共施設等の総延床面積を縮減し、改修・更新や維持・運営に必要なコストの適性化を図ります。

方針

2

施設の長寿命化

予防保全型の管理に転換し、長期にわたって計画的に施設の安全性や利便性を確保します。建築物の健全度の評価をもとに適切に維持管理を行い、目標耐用年数を概ね80年として長寿命化を図ることを目指します。

方針

3

運営の適正化

公共施設等の運営手法を見直し、コストの縮減を行います。指定管理者制度の拡大やコスト、サービスの状況によっては、民間施設への代替を検討するとともに、包括的民間委託など更なるPPP/PFIの活用についても検討します。また、受益者負担の原則の観点から利用料金の適正化を図ります。

公共施設等の管理に関する基本的な方針②

インフラ施設の維持管理における基本方針の3つの柱

方針

1

都市基盤の安全性向上

インフラ施設は、市民生活と直結した都市基盤であるため、中長期を見通した計画的な維持管理の実施により、事故や災害によるリスクを軽減し、安全で快適な暮らしを確保します。

方針

2

コスト縮減に向けた維持管理

インフラ施設の維持管理について、予防保全型の管理方針を導入するほか、安全や所要の機能を確保するための一定の基準を設定した上で、合理的な維持修繕を行うものとし、コストの縮減を行います。また、外部への委託の拡大や包括管理委託の導入などコスト縮減に向けた施策の検討を行います。

方針

3

資産情報の収集・蓄積と計画的な管理の推進

インフラ施設は、多様かつ多量の施設が整備されているため、点検結果をはじめとした情報を適切に収集・蓄積し、劣化予測などに活用するほか、個別計画を策定し、計画的な管理を行います。

現在の取り組みと今後の展望

江南市公共施設再配置計画の策定

縮減目標の設定

	①更新費用の見込み	②充当可能な財源の見込み	③不足額 (①-②)
公共建築物	926.8億円 (23.2億円/年)	524.0億円 (13.1億円/年)	▲402.8億円 (▲10.1億円/年)
インフラ施設	308.2億円 (7.7億円/年)	264.0億円 (6.6億円/年)	▲44.2億円 (▲1.1億円/年)
合計	1,235.0億円 (30.9億円/年)	788.0億円 (19.7億円/年)	▲447.0億円 (▲11.2億円/年)

《縮減目標》 今後40年間の公共施設の
更新・改修、維持・運営コスト447.0億円（11.2億円/年）の縮減
（延床面積の約14%に相当）

江南市民の意見

総合計画アンケートより

今後の公共施設のあり方

- 「現在ある**施設の必要性を検証**し、新たな負担は求めず、人口や税収の規模に見合った量まで、**統廃合や複合化して施設を削減**すべき」 **(59.4%)**

公共施設の統廃合の検討対象施設

- 「稼働率や利用者の少ない施設」 **(68.5%)**
- 「一部の人・団体などしか利用していない施設」 **(59.1%)**

公共施設の更新・維持管理費用の財源確保に必要な施策

- 「統合や複合化・多機能化、廃止して**施設数を減らす**」 **(65.7%)**
- 「使用料を改正し、施設利用者から適正な使用料を徴収する」 **(62.6%)**
- 「**長寿命化対策**により、少しでも長く使えるようにする」 **(61.9%)**

江南市のめざす都市の将来像 総合計画基本構想より

地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市
～生活・産業・文化の魅力があふれ、選ばれ続けるまち～

基本目標 1 : 地域の魅力を活かした機能的なまちづくり

基本目標 2 : 子どもが生き生き育つ環境づくり

基本目標 3 : 生活を支える雇用・就労環境づくり

基本目標 4 : 安心・安全の地域づくり

基本目標 5 : 常に改革を進める行政

公共施設再配置の基本方針

総合計画の将来像を踏まえた再配置の5つの基本方針

方針①

- ・「コンパクト・プラス・ネットワーク」の理念に基づくまちづくり
- ・行政サービスの機能性を高めるまちづくり（集約化・効率化など）

方針②

- ・子育て支援・教育環境の充実
- ・人口減少、少子化などの人口構造の変化、技術革新の進展に対応した施設づくり

方針③

- ・地域で支え合うコミュニティの育成
- ・世代や性別などの垣根を越えた交流拠点づくり

方針④

- ・さらなる安心・安全の確保
- ・バリアフリー・ユニバーサルデザインを考慮した施設づくり

方針⑤

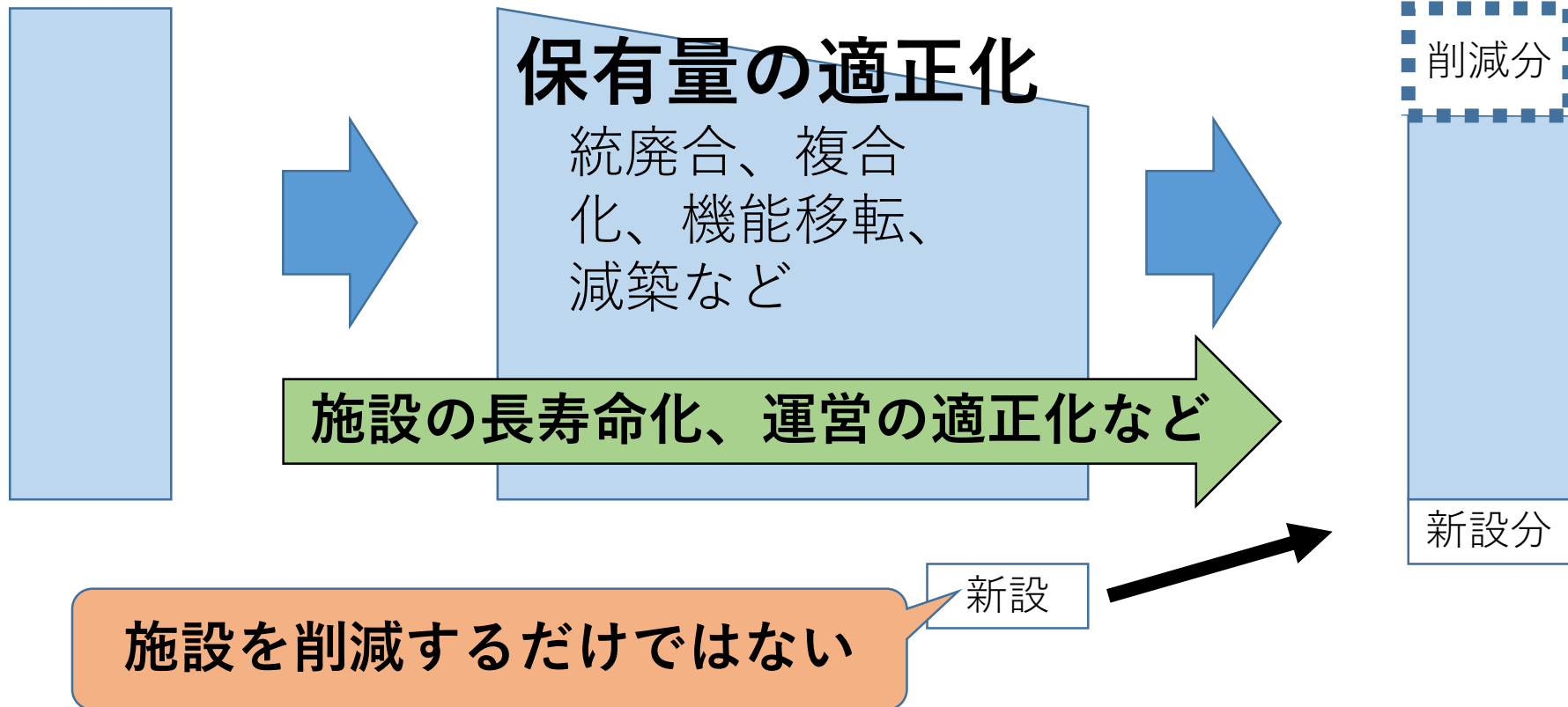
- ・公共施設マネジメントの持続的な改善・改革行政

コスト縮減を図りつつ、新たなまちづくりの契機に！

公共施設再配置の取り組みイメージ

【現在の施設保有量】

【将来の施設保有量】



公共施設再配置の評価指標

一次評価

- 建物の安全性
- 施設利用状況
- ランニングコスト

二次評価

- 公共性
- 交通利便性
- 施設周辺の人口
- 市の施策との関連性
- 市民意向
- 同種・類似施設の配置状況



総合評価
公共施設の配置
適正化方策

定量的な評価（一次評価）、
定性的な評価（二次評価）に
基づき、各施設の適正化方策
を決定

公共施設再配置の具体的な方策 (適正化方策)

施設総量の縮減

- 新設の抑制
- 統廃合の推進
- 複合化や機能移転（移転・転用）の推進
- 減築の推進

施設の長寿命化

- 長寿命化の推進

運営の適正化

- 官民連携の活用
- 利用料金の適正化

資産の処分・有効活用

- 売却や民間への貸付けなどの推進

江南市の現状と課題を踏まえて

皆さんと一緒に今後の
の公共施設のあり方を
話し合いたいと思います

